

アクションプラン2020進行管理シート（令和2年度上半期分）

■ 記載内容

□ R2年度上半期の取組（D）

アクションプラン2020～令和元年度版～における取組項目ごとの、令和2年度上半期の計画（P）に対する、令和2年9月末時点の取組内容

□ 今期の評価（C）

計画（P）に対する取組についての評価と評価の理由を記入

【凡例】

- S：計画を超えて達成
- A：計画どおりに達成
- B：実施したが計画に未達
- C：未実施

（評価の例）

- | | | |
|------|---|--|
| 課内検討 | → | S：庁議等で協議し一定結論を得た
A：課内検討を終え一定結論を得た
B：検討を進めたが結論を得ていない
C：課内検討に至らなかった |
| 庁内検討 | → | S：行政決定し、事業を実施した
A：庁議等で協議し一定結論を得た
B：検討を進めたが結論を得ていない
C：庁内検討に至らなかった |
| 実施 | → | S：想定以上の成果が出た
A：ほぼ想定どおりの成果が出た
B：効果が想定を下回った、実施時期が遅れた
C：実施に至らなかった |
| 推進 | → | S：新たな取組へ昇華した
A：遺漏なく推進した
B：推進したが実施できなかった
C：事業自体廃止した |

□ 改善事項（A）

- ・アクションプラン2020で定めた計画（P）の変更が必要な場合、その内容
- ・今期の評価（C）が「B」「C」評価の場合は、次年度に向けた取組内容を記入

■ 進行管理／進捗チェックの流れ

- ①各部署での自己評価（D・C・A）
- ②行財政再建推進本部（庁内）での進行管理 及び
行財政改革市民会議（庁外）での進捗チェック（C・A）
- ③各部署が記入した評価等を見直し（C・A）

アクションプラン2020 進行管理シート

取組①

後世に夢を残そう！ 税収等の確保

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
第4次小金井市基本構想・後期基本計画とまち・ひと・しごと創生総合戦略の推進	企画政策課	⑧推進	継続実施	計画の推進	A	問題なく推進している。	なし
第5次小金井市基本構想の策定	企画政策課	④審議会等	素案策定、パブコメ実施したものの、新型コロナの影響で策定を半年程度延期	なし	B	新型コロナウイルス感染症の影響有無を改めて検討するため、策定期間を半年程度延期することとしたため、従来のスケジュールより遅れが生じた。	新型コロナウイルスの影響を踏まえ、計画の見直しを行い、令和3年10月を目途に策定を進める。
徴取引継(債権管理の推進)	行政経営担当	⑤準備	・多摩26市債権管理状況調査の実施 ・調査結果の庁内共有	多摩26市債権管理状況調査結果	C	調査等を実施したものの、本来予定していた関係課との試行に向けた事務等の整理が、新型コロナウイルス感染拡大の影響により実施できず、準備段階まで至らなかったため	試行時期の見直しを含め、関係課との協議を行う。
不動産公売・インターネット公売	納税課	⑧推進	未実施	なし	B	新型コロナウイルスの影響があり搜索等が実施できなかった。	コロナの状況を見ながら推進できるよう取り組む。
市税収納率の改善 (東京都市部で上位となる収納率の確保・維持)	納税課	⑧推進	継続実施	歳入確保	A	上半期では前年度以上の収納率が確保できた。	なし
徴収困難な市債権引継ぎ	納税課	③庁内検討	未実施	なし	C	新型コロナウイルスの影響により予定どおり進められなかったことから、引き続きの検討が必要である。	課内検討を行い課題点の洗い出しを行いながら、庁内検討できるよう進める。

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
開発の推進	まちづくり推進課	⑧推進	法・条例・要綱に基づく開発指導	良好な住環境整備の推進	A	条例・要綱に基づき、適切に推進しているため。	なし

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

- ・徴取引継の取組以外については、概ね計画どおりに進捗していると評価します。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、小金井市の財政の根幹である税収に大きな影響が長期的に及ぶことが考えられます。
- ・市では、このため市税徴収に注力して徴取引継は延伸することですが、市税収入の適正な確保のための努力と所得が大きく減少した納税者等への配慮を適切に進めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組②

知恵と工夫で勝負！ 新たな財源等の確保

取組項目	担当部署	計画(P) R2上半期	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
			取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
寄付金の募集強化 (ふるさと納税の活用推進)	企画政策課	⑧推進	・寄附の募集 及びお礼品事 業者への広 報 ・新型コロナ ウイルスに係 る対応検討	・お礼品の追 加 ・新型コロナ ウイルスに係 る寄附受付可 能な体制の構 築	S	お礼品を増やすと もに、新型コロナウ イルスに係る寄附を 受け付けられるよう になり、寄附金増加 に繋がった。	なし
寄付金の募集強化の仕組みづくり	行政経営 担当	⑧推進	・クラウドファン ディング実 施のための関 係課との協議 ・要綱の制定 準備	なし	C	クラウドファンディ ング実施に向けた関 係課との協議等の 準備を行っているも の、実施には至っ ていないため	年度内の実 施に向けた 要綱の制定 及び事業の 具体化
広告等の活用推進	行政経営 担当	⑦実施	・スポーツ振 興担当との情 報共有	検討状況の 把握	C	スポーツ振興担当に おいて、栗山運動公 園におけるネーミン グライツ導入に関す る検討がされている が、新たな取組の実 施には至っていない ため	実施の可否 及び要件を 整理し、ス ポーツ振興 担当と協議 する。
ネーミングライツ導入 (総合体育館・栗山運動公園)	生涯学習課	②課内検 討	業者ヒア実施 課内検討	課内検討結 果報告書	B	栗山公園健康運動 センターにおいて実 施する場合の課題 を抽出した。	引き続き検 討を行う。

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

・「寄付金の募集強化(ふるさと納税の活用促進)」の取組を進め、寄付金が増加していることを評価します。

- ・「寄付金の募集強化の仕組みづくり」では、令和2年12月に新型コロナウイルス対策に伴う医療関係者支援のクラウドファンディング(ふるさと納税)を実施するとのことですが、しっかりと進めて今後につなげてください。
- ・「広告等の活用促進」の現在の検討課題は「ネーミングライツ導入」とのことですが、行財政改革プラン2020の計画期間である令和2年度中に結論を出せるよう、引き続き検討を進めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組③

類似団体から学べ！ コスト管理・特別会計等健全化の推進

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
市制施行周年事業の見直し	企画政策課	②課内検討	課内打合せ実施	なし	B	検討しているが結論には至っていない。	引き続き検討する。
各部・各課コスト管理の推進	行政経営担当	④審議会等	・市議会での新たな事務事業評価に係る勉強会実施	・事務事業評価の事例等の市議会との共有	A	市議会行財政改革推進調査特別委員会において、新たな事務事業評価の実施に向けた勉強会を実施しているため	令和2年度下半期も市議会と継続して情報共有し、実施方法等の結論を得る。
地方公会計の整備	財政課	⑧推進	R1年度財務書類作成作業を開始	財務書類の作成に向けたデータ収集	A	R1年度財務書類の作成に向け、積極的に取り組んでいるため。	なし
主管課契約事務の見直し	管財課	⑨検証	主管課契約事務に関する問合せ対応及び研修の実施	事務の効率化	A	各課からの問合せへの対応、研修の実施等により、順調に進んでいる。	なし
新たな入札契約方式(DB・DBO等)の活用促進	管財課	⑧推進	情報の収集	なし	B	該当案件がなく、情報収集にとどまったため。	今後、該当案件があった場合に実施・推進する。
低未利用地の活用・処分	管財課	⑧推進	随時対応	1件処分	A	遺漏なく処分を行った。	なし
地方公会計の整備	管財課	⑧推進	継続	適切な情報共有を行った。	A	関係各課連携し、業務を推進した。	なし
公用車の削減	管財課	③庁内検討	継続	なし	B	関係各課と検討しているが、結論には至っていない。	関係各課との検討結果の集約に向けた作業を行う。
地方公会計の整備	会計課	⑧推進	令和元年度の備品管理状況を取りまとめた	備品管理が適正に行われた	A	既定のスケジュールどおりに進行している	なし

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
特別会計の健全化	保険年金課	⑧推進	継続実施	法定外繰入金の削減	A	財政健全化計画どおり実施したため。	なし
低未利用公園等の活用	環境政策課	⑤準備	・庁内照会 ・公園審査会実施 ・隣接地権者協議中	なし	B	隣接地権者と協議し、中町シダレザクラ緑地の用途変更の手続きを進めているため。	引き続き活用に向けた検討をする。
放置自転車撤去業務の見直し	交通対策課	③庁内検討	課内検討実施	なし	C	コロナの影響により、新たな支援策の構築、実施に伴い、取組に遅れが生じ、庁内検討までの整理に至らなかったため。	下半期に実施予定。
高架下の活用(駐輪場・保管所)	交通対策課	③庁内検討	継続実施	なし	B	土地所有者へ市の意向は伝えたが継続協議となった。	土地所有者の活用が優先となることから継続協議

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

・概ね計画どおりに進捗していると評価します。

・「低未利用公園等の活用」「放置自転車撤去業務の見直し」「高架下の活用(駐輪場・保管所)」が進展していないのは残念ですが、積極的に取組を進めてきた環境政策課・交通対策課の姿勢を評価しています。
 ・新型コロナウイルス感染症の影響の深刻化・長期化により、また、本市が不交付団体であることにより、最適なコストで施策・事業を実施する必要性は、他の類似団体や近隣市以上となります。すべての部署において、施策・事業のコスト最適化に努めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組④

民の強み、行政の役割！ 公民連携アウトソーシングの推進

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
公民連携アウトソーシング基本方針の策定	行政経営担当	⑧推進	・各課における取組の推進	学校給食調理業務の視察等	B	新型コロナウイルス感染拡大等のため中断した部分もあるが、その中でも一定の検討等を推進してきたため	・新たな公民連携アウトソーシングの推進 ・基本方針のさらなる周知
総合案内業務の見直し	行政経営担当	③庁内検討	なし	なし	C	併せて検討していた市民課窓口委託を優先して行うこととし、それを踏まえて検討することとされているため	市民課窓口委託の業務安定の上で、庁内検討を行う。
秘書業務の一部派遣化	広報秘書課	②課内検討	他自治体の実例と洗い出した業務を踏まえた仕様の作成	見積のもととなる仕様書(案)	A	検討の基礎となる予算見積を行う準備を整えることができた。	なし
公民連携アウトソーシング基本方針に基づく業務見直し	管財課	⑤準備	継続	なし	A	目標時間数を下回った。	なし
収納・振込業務の効率化	会計課	⑤準備	口座振替の電送化(インターネットバンキングでの送金)の導入を行った	適正に稼働中である	A	導入時の混乱なく、稼働を開始した	なし
市民課窓口委託	市民課	⑧推進	委託後、丸1年が経過し、委託業務を進めている。	引続き非常勤嘱託職員5人減員、正規職員3人減員の状況にある。	A	委託後、丸1年が経過し、委託業務としては当初に予定したとおり進んでいる。	・異動入力業務のように委託していない業務を担える人材の確保育成。 ・疑義として上がってきた内容を精査し、事業者側と情報共有を行うことにより、同様な事例での疑義の発生を抑える。

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
公民連携アウトソーシング基本方針に基づく業務見直し	コミュニティ文化課	③庁内検討	令和2年3月にはけの森美術館運営協議会から提出された「小金井市立はけの森美術館への提言」を受け、課内検討を行った。	なし	B	提言に対する対応を集約するに至らなかった。	提言の内容を精査し、更なる課内検討結果を集約する。
公民連携アウトソーシング基本方針に基づく業務見直し	自立生活支援課	⑤準備	事例の調査	方向性・要件の整理	C	検討は進めたものの、具体的な方法の結論を出すに至らなかった。	適切なアウトソーシングの方法について継続して検討する。
市立保育園の民営化(2園)	保育課	⑤準備	公立保育園運営協議会での説明・協議	なし	C	公立保育園運営協議会での説明・協議が進んでいない。	引き続き説明・協議を継続する。
市立保育園の民営化(1園)	保育課	③庁内検討	2園民営化の進捗等を踏まえて検討	なし	C	2園民営化の進捗と密接に関連するため	引き続き2園民営化の進捗等を踏まえて検討
学童保育所委託(1所)	児童青少年課	①調査	未実施	なし	C	令和2度の承認児童数を入れて再試算した学童保育所入所見込数(予測値)の試算を行った。また、来年度の対応が急務となっている。	大規模化対応に関し、場所の確保と今後の運営体制の検討が必要。
児童館業務委託	児童青少年課	②課内検討	未実施	なし	C	学童大規模化や施設複合化を見据えた検討が必要であるが、コロナ対応を最優先に行っていたため未実施	学童大規模化や施設複合化を見据えた検討が必要であるため、課内検討を継続。

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
施設管理業務の委託化	庶務課	⑦実施	全14校(委託予定3校を含む)の委託化を実施	6人の非常勤嘱託職員を削減	A	委託予定3校を含む、全14校の民間委託を実施	なし
学校給食調理業務の更なる委託	学務課	⑤準備	職場協議を進めることができなかった。	なし	C	職場協議が進まなかった。	今後、職場協議と市民との懇談を進める
図書館業務委託	図書館	⑤準備	継続	なし	B	関係部署と協議は継続しているものの、進展には至っていない。	引き続き協議を進める。
公民館センター化・業務委託	公民館	⑤準備	検討スケジュールに従い検討委託内容検討	なし	B	中長期計画策定スケジュールに従い、審議会で検討しているが、結論を得ていない。	中長期計画策定スケジュールに従い、審議会で検討している。

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

- ・全般的に、進捗していないと評価せざるをえません。
- ・その中で「市民課窓口委託」「施設管理業務の委託化」が順調に進んでいることは評価します。
- ・保育園・学童保育所・児童館・図書館・公民館等の従来からの課題について、進捗が見られません。学校給食調理業務の更なる委託化についても進捗がないと言わざるをえません。
- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響、積年の課題としての困難さは承知していますが、トップランナー方式が採用される中、財政力指数1.0程度である小金井市にとっては、それらの事業が最適な形で実施されることは不可欠です。
- ・新たな行財政改革プランにおいてこれらの課題を解決できるように、令和2年度中に課題を整理して対応策の検討を進めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑤

徹底した市民目線で！ 補助金・受益者負担・給付水準の適正化

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
新基準に基づく受益者負担の見直し (長期総合計画等売払収入)	企画政策課	⑤準備	課内打合せ実施	なし	B	取組①の計画策定に伴う取組のため、計画の策定延期に伴い延期となる。	引き続き検討する。
補助金等交付の基準見直し	行政経営担当	⑧推進	補助金等検討委員会	なし	B	適宜、補助金等検討委員会での検討は行われているが、補助金等見直し基準に基づく行財政再建推進本部による検討対象の抽出の上での検証・見直し等は行っていないため	現在検討中の新たな事務事業評価における実施を含め、財政課と連携していく。
受益者負担の基準見直し	行政経営担当	⑧推進	・各課における受益者負担の見直し ・見直しに向けた調査、検討	・環境政策課による公園占用料見直し ・道路管理課による道路占用料見直し	A	基準を踏まえた見直しや調査が個別に進められたため	・基準の見直しに向けた検討
給付水準の見直し	行政経営担当	⑤準備	課内検討	なし	C	給付水準の基準についての事例が少なく、給付水準見直しの方針案等を行財政改革市民会議に諮るには至らなかったため	行財政改革プラン2025策定に向けて、各種給付の基本的な考え方を整理する。
委員会、審議会の報酬見直し	行政経営担当	④審議会等	未実施	なし	C	審議会等における具体的な検討を行っていないため	行財政改革プラン2025策定に向けて、市民参加の在り方を踏まえて整理する。
新基準に基づく補助金等の見直し	コミュニティ文化課	③庁内検討	検討を行った。	なし	B	課内で検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、課内での集約を得るに至らなかった。	改めて状況を整理し、課内検討結果を集約する。

取組項目	担当部署	計画(P)			R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由			
新基準に基づく受益者負担の見直し	コミュニティ文化課	③庁内検討	検討を行った。	なし	B	課内で検討を行ったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、課内での集約を得るに至らなかった。	改めて状況を整理し、課内検討結果を集約する。		
新基準に基づく受益者負担の見直し	市民税課	⑤準備	他市の証明書発行手数料との比較検討	本市の手数料は高い水準にある	A	現在の発行価格は、26市中、高い水準にあり、引き続きの調査を行うこととした	なし		
新基準に基づく受益者負担の見直し(減免基準)	下水道課	④審議会等	課内検討に資する資料を収集	なし	B	東京都下水道局及び水道局の減免規程との比較検証を行うため、資料収集を行った。	下半期に向け検証していく予定。		
新基準に基づく補助金・受益者負担・給付水準の見直し	自立生活支援課	⑦実施	実施の準備	方向性の整理	C	実施に向けて検討は進めているが、実施には至っていないため。	実施に向けて具体的な検討を行う。		
保育料の見直し	保育課	⑨検証	受益者負担の適正化について検証	継続して検証していくことが必要	A	H31.4の保育料改定後は、他市状況等の研究を行っている。	引き続き検証を行う。		
新基準に基づく補助金等の見直し	保育課	②課内検討	課内検討を実施	見直しの必要性の確認	B	課内検討を進めたが、見直し内容の確定にまで至っていない。	予算にて見直し内容を反映させること		
道路占用料の見直し	道路管理課	⑦実施	改正後の道路占用条例の施行(R2.4.1から)	歳入増(約1,000万円/年)となる見込み	A	予定通り実施	なし		
自転車駐車場料金の見直し	交通対策課	①調査	課内打合実施	なし	C	コロナの影響により、新たな支援策の構築、実施に伴い、取組に遅れ生じ、調査実施まで至らなかったため。	下半期に調査実施予定。		

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
就学援助の見直し	学務課	②課内検討	他市の状況を確認した。	更なる見直しをどうするか検討	B	課内検討にとどまる。	学校休校中の給食費相当分の支給に対応した。
上水公園運動施設の有料化	生涯学習課	①調査	利用団体ヒア実施	体協加盟の利用団体へのヒアを完了	B	市民の理解を得るためには、さらに調査をする必要がある。	引き続き調査を行う。
公民館有料化	公民館	⑤準備	検討スケジュールに従い検討	なし	B	中長期計画策定スケジュールに従い、審議会で検討しているが、結論を得ていない。	中長期計画策定スケジュールに従い、審議会で検討している。

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

・「保育料の見直し」「道路占用料の見直し」が順調に進んでいることを評価します。

・しかし、「受益者負担基準」は定められたものの、具体的な見直しはあまり進捗していません。

・「公民館有料化」については、公民館中長期計画に位置付けられるとのことですので、実施時期等を早急に明確化してください。

・「上水公園運動施設の有料化」についても、行財政改革プラン2020の計画期間である令和2年度中に結論を得るように調査・検討を進めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑥

少数精鋭で高い市民サービス！ 職員数の適正化と重点配置

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
定員管理計画の策定 (職員数削減・重点配置)	行政経営 担当	⑪見直し	・令和2年4月 1日時点の職 員数を踏まえ た計画の改定	定員管理計画 (令和2年6月 16日改定)	B	行財政改革プラン2 025策定方針の決 定を優先し、次年度 を見据えた改定のス ケジュールが、当初 の9月から10月に なったため	・令和3年4 月1日の会計 年度任用職 員化等を踏 まえた計画 の改定 ・令和4年以 降の定員管 理計画の策 定
中長期的な展望に基づく計画的な 職員採用	職員課	⑧推進	職員採用試験 の実施	採用予定者の 獲得	A	定員管理計画を踏 まえた、職員採用試 験を実施したため。	なし
課税業務見直しによる類団差整理 (1人)	市民税課	③庁内検 討	取組項目⑧職 員の会計年度 任用職員化と あわせて実施	取組項目⑧職 員の会計年度 任用職員化と あわせて2人 削減	S	取組項目⑥課税業 務見直しによる類団 差整理とあわせて実 施した	なし
ごみ対策課業務見直し (分室業務・類団差整理を含む)	ごみ対策課	⑦実施	前年度からの 課題を踏ま え、再検討案 を作成した。	再検討案の作 成	B	本格的な協議は今 後実施することとな る。	実施に向け、 協議を行い、 合意形成を 図る。

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

- ・概ね計画どおりに進捗していると評価します。
- ・「課税業務見直しによる類団差整理(1人)」(市民税課)について、市長による検討指示を踏まえて、2人を削減したことを評価します。
- ・「ごみ対策課業務見直し」について、検討・準備が進められ、令和3年度及び4年度に実施される方向とのことでした。そのように進めてください。
- ・更なる職員数の適正化と重点配置に向けて、新たな取組を引き続き検討・実施し、令和4年度以降の定員管理計画の策定を進めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑦

市民の「ありがとう」のために 職員の意識改革

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
時間外勤務の抑制 (各課目標時間の厳守)	企画政策課 他41部署	⑧推進	重点項目を掲 げて全庁で推 進	退庁時間の表 示や時差出勤 制度等の活用 推進	A	時間外勤務時間の 目標を達成している ため。	なし
改善改革運動の実施・推進	行政経営 担当	⑦実施	・令和2年度 実施の手引を 庁内周知し た。	・令和2年度 実施の手引の 作成及び周知	A	新型コロナウイルス 感染拡大のため説 明会の実施は見 送ったが、実施の手 引きを更新の上、庁 内に周知を図り、6 月5日から改善取組 報告の募集を開始し たため	・報告取組の 量及び質の 向上に向けた 事業周知
派遣研修の実施	職員課	⑧推進	・令和2年度の 東京都への派 遣研修は割り 当て無し ・次年度以降 の派遣研修に 向けた調整	派遣研修の検 討	B	東京都と調整した結 果、また、本市人事 異動の関係上、令和 2年度の派遣研修は 実施が無かった。	令和3年度以 降の派遣研 修に向けて、 東京都と派 遣研修を検 討
民間交流の実施	職員課	⑧推進	継続実施	4件	A	多摩信用金庫、東京 オリンピック・パラリ ンピック競技大会組 織委員会、小金井市 観光まちおこし協会 と人事交流を実施し たため。	なし

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

・概ね計画どおりに進捗していると評価します。

・「改善改革運動の実施・推進」について、実施の手引きをわかりやすく改定した上で6月から改善報告の募集を始めたとのことですが、職員の意識改革が広がることを期待します。なお、改善改革運動についてはメリハリをつけ、一定のところで区切りをつけていくことが必要であると考えられます。

・また、「時間外勤務の抑制」(各課目標時間の厳守)が達成されたことを評価します。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあると考えられるため、引き続き目標達成に向けた努力が重ねられることを期待します。

・人財育成は、新たな自治体経営を推進していくために不可欠です。現在、新たな人材育成基本方針を検討中とのことですが、「派遣研修の実施」「民間交流の実施」の拡大その他、人財の育成・活用策について踏み込んだ検討をお願いします。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑧

定型業務を見直せ！ 多様な任用形態の活用

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
非常勤(会計年度任用職員)化等の推進(働き方改革)	行政経営担当	⑧推進	・3部署で会計年度任用職員化を実施 ・令和3年度における会計年度任用職員化の検討	・3部署での会計年度任用職員化の実施 ・行財政再建推進本部において、令和3年度の会計年度任用職員化に係る検討指示取組を決定	A	・定員管理計画のとおり会計年度任用職員化を実施したため ・定員管理計画の改定に向けた検討指示取組を決定したため	会計年度任用職員の活用に向けた各課における職務の見直しの推進
職員の非常勤(会計年度任用職員)化	保険年金課	②課内検討	課内検討	なし	C	コロナウィルスの影響で必要な調査等ができず検討が不十分なため。	コロナウィルスの感染拡大状況を見つつ必要な調査等を行う。
職員の会計年度任用職員化(職員2→会計年度任用職員3)	市民税課	⑦実施	取組項目⑥課税業務見直しによる類団差整理とあわせて実施	取組項目⑥課税業務見直しによる類団差整理とあわせて、職員2人の削減	A	当初計画を超える本部長指示について、取組項目⑥課税業務見直しによる類団差整理とあわせて実施した	なし
職員の会計年度任用職員化(職員1→会計年度任用職員1)	資産税課	⑦実施	会計年度任用職員化実施	職員1名削減	A	計画を前倒して会計年度任用職員化を実施した。	会計年度任用職員向けマニュアルの充実及び、正規職員のフォロー体制整備。
職員の非常勤(会計年度任用職員)化	保育課	②課内検討	課内検討出来なかった。	なし	C	正規職員の非常勤化は出来なかったが、幼児教育保育無償化及び入所相談に対応する会計年度任用職員の雇用を行い、時間外勤務を削減することができた。	課内検討の早期実施

取組項目	担当部署	計画(P)			R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由			
職員の会計年度任用職員化 (職員1→会計年度任用職員1)	児童 青少年課	⑦実施	4月実施	職員1名削減	A	本部長指示に基づいて、会計年度任用職員化を実施した。	なし		
職員の非常勤化 (職員1→非常勤職員1)	庶務課	⑩見直し	令和元年度から職員1人の非常勤化を実施した	職員1人の非常勤化	A	業務については支障なく遂行している。	なし		
再任用職員、非常勤職員(会計年度任用職員)等の活用	議会事務局	②課内検討	H29年度に類似団体分析を行い、経験者なら一定検討の余地あり	他市の活用状況を理解できた	A	類団同様、議会事務局経験者が、希望者としている場合等に改めて検討する。	なし		

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

- ・概ね計画どおりに進捗していると評価します。
- ・この間、多様な任用形態の活用を進めて、職員数の適正化と重点配置が実現してきたこと、そのための各課の努力を評価します。
- ・しかし、保険年金課及び保育課の「職員の非常勤(会計年度任用職員)化」について、この間、まったく具体的な検討が進んでいないことは極めて遺憾です。会計年度任用職員は一般職であり、新入職員を配置できるならば、活用の余地があるはずで、具体的な検討がされることを期待されます。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑨

市民の声に打てば響く！ 組織機構の改革

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
新庁舎竣工を目途とした組織改正	行政経営担当	③庁内検討	庁舎建設等担当、福祉会館等担当等との協議	課題の共有	B	担当との協議を行い、課題の共有等を図ったものの、具体的な組織改正の案をまとめられていないため。	新庁舎・新福祉会館建設が令和3年度に工事に入っていくこと等を踏まえた必要な組織改正の実現

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

- ・「新庁舎竣工を目途とした組織改正」が進んでいないことは遺憾です。
- ・組織改正に困難な面があることは理解しますが、行財政改革プラン2025の策定に向けて、社会状況の変化や市の施策推進に向けた組織づくりが行えるよう、組織改正の課題及び方針を検討してください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑩

ガラス張りを目指せ！ 市民・市議会・行政による一体的推進

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
行財政改革の「見える化」	行政経営担当	⑧推進	アクションプラン2020の進行管理(令和元年度分)	進行管理シートの作成及び公表	A	進行管理シートの公表により、行財政改革プラン2020の進捗を、市民が確認できる状況となっているため	なし
市民会議による進捗チェックと公表	行政経営担当	⑧推進	アクションプラン2020の進捗チェック(令和元年度分)	市民会議による進捗チェックの実施及び結果の共有・公表	A	計画通り進捗チェックが完了し、結果を市民が確認できる状況となっているため	なし
市民・市議会・行政による行財政改革の一体的推進(聖域なき改革の推進)	行政経営担当	⑧推進	<ul style="list-style-type: none"> ・第10期行財政改革市民会議における進捗チェック ・行財政改革推進調査特別委員会における審議 ・行財政再建推進本部における進行管理 	<ul style="list-style-type: none"> ・特別委員会、市民会議での情報共有及び審議 	A	市議会、市民会議に情報提供を行いながら、行財政再建推進本部における進行管理を行い、取組の推進を図ったため	なし

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

・概ね計画どおりに進捗していると評価します。

・この間、アクションプラン2020の進行管理は、従前よりも適切に行われるようになったと評価しています。
 ・一方、第9期市民会議の提言には「重要取組を明確化して重点的にPDCAを行う」とともに「各課における改善を促す仕組みづくりを別途行う」とあります。行財政改革プラン2025策定に向けて、具体的な検討を進めてください。

アクションプラン2020 進行管理シート

取組⑪

重要課題を先取り解決！ 進行管理の強化

取組項目	担当部署	計画(P)	R2年度上半期の取組(D)		今期の評価(C)		改善事項(A)
		R2上半期	取組の経過	得られた成果	評価	評価の理由	
アクションプラン2020の策定・更新	行政経営担当	⑩更新	・行財政再建推進本部において、アクションプラン2020改定に係る検討指示取組の内容を決定した。	・アクションプラン2020改定に係る検討指示取組	B	行財政改革プラン2025策定方針の決定を優先し、改定スケジュールが当初の9月から10月になったため	10月末に向けて改定内容を検討する。
行財政改革プラン2025(仮称)策定	行政経営担当	④審議会等	・行財政再建推進本部において策定方針を決定 ・第10期行財政改革市民会議への諮問	・行財政改革プラン2025策定方針	B	策定方針の決定時期及び市民会議への諮問時期が、当初の計画より遅れたため	新型コロナウイルス感染症の影響等を踏まえた上で、令和3年10月に策定する。

行財政改革市民会議による 進捗チェック(C)

・「アクションプラン2020の策定・更新」について、アクションプラン2020は例年9月頃に更新されてブラッシュアップされ、新たな取組が積み上げられてきたことを評価します。
 ・先行き不透明感が増す社会情勢の中、先を完全に見通すことはできません。方向性を持ちつつ、柔軟に見直しながら取組を進めることが重要です。

・「行財政改革プラン2025(仮称)策定」については、策定方針等を踏まえて行財政改革市民会議でも検討していますが、庁内での検討及び議論が活発に行われることを期待します。
 ・また、進行管理シートにおける「成果」について、取組回数や協議実施の有無等のアウトプットに関する記載が多いです。できる限り効果等のアウトカムの「成果」を把握し、取組との関係を検証して見直しに活かすようにしてください
 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響の深刻化・長期化等も踏まえた、先行き不透明な時代における自治体経営の実現を目指した、新たな行財政改革の方向性づくりが求められています。その検討を具体的に進めてください。